

『保育学研究』への投稿論文作成における生成 AI の利用に関する注意

近年、学術研究の多くの側面においても、生成 AI の利用が増加しています。論文投稿における生成 AI の利用に関しては、以下の点を十分に注意してください。

なお、『大会発表論文集』への投稿においても同様の「注意」をお願いします。

1. 著者資格

生成 AI は、投稿された論文の内容について説明責任を果たすことができません。著者は、論文や発表に含まれるすべての内容について最終的な責任を負います。生成 AI は著者資格を有しません。

2. 著者の責任

論文投稿にあたり生成 AI を利用した場合、投稿後に、具体的にどのような目的でどのように生成 AI を利用したか、利用にあたり著者の責任において必要な確認を行ったか等について説明を求められることがあります。生成 AI の利用によって作成された内容についての責任は、著者が負うものとします。

3. 使用方法

生成 AI ツールによって得られた全ての情報（文章、図、画像等）は、必ず著者が精査し、著作権など他者の権利を侵害していないことを確認してください。

また、利用する生成 AI の利用規約を遵守してください。

2026 年 4 月 1 日

一般社団法人日本保育学会 研究倫理委員会